

10月18日

今日は外こく人11せきのお客さまがでんぴょうをはらいたかった時に、知らない理由のせいで13せきのガメンにあかくて、「はらいという中」で書いたガメンになった。

※ はらいたかった時 → はらいたい時

知らない理由のせいで → 理由は分からないけど

ガメンにあかくて → ガメンがあかくて

はらい中 で書いた → **no hay palabra** 「はらい中」 **seria** 「はらい中」と書いてある

→ 今日は外国人が11せきにいて、でんぴょうをはらいたい時に、理由は分からないけど、13せきのガメンがあかくて、「はらい中」と書いてあった。

その時、石囲さんを私が呼んで、かれがお客さまがマシンに入れたキャッシュをもどして、全部をもう一回いしました。

※ キャッシュ → キャッシュ

→ その時、私は石囲さんを呼んで、彼はお客さまがマシンに入れたキャッシュをもどして、全部もう一回やり直しました。

そのあと石囲さんはお客さまを自由にしたが、かれが困っていたんだ。ガメンが日本語になった。

※ そのあと石囲さんはお客さまを自由にしたが → **no entiendo por qué los dejo en libertad?**

**o seria "Ishii san lo restauró, pero el cliente estaba en problrmas. La pantalla estaba en japones"?**

**Si lo es....**

→ 石囲さんはもとにもどしたけど、おきゃくさまは困っていた。ガメンが日本語だったから。

だから、私がボタンをおして、かれをたすかった。

※ たすかった → たすけた **pero mejor** 「てつだった」

「たすかった」 **es desde la perspectiva de quien recibe la ayuda**

「たすけた」 **es desde la perspectiva de quien brinda la ayuda.**

「たすける」 **se refiere a la acción de ayudar cuando la otra persona está en una situación difícil."**

→ 私がボタンをおして、かれをつだった。

あとは、クリスターでつくられたボトルは「あか」と書いているゴミの大きいはこにおきます。

※あとは → また

クリスター → クリスタル

クリスタルでつくられたボトル → クリスタルボトル

ゴミのはこ → ごみばこ

書いている → 書いてある 「書いている」 **es estar escribiendo**

「書いてある」 **es esta escrito**

→ また、クリスタルボトルは「あか」と書かれているゴミばこにおきます。

それに、本当にソフトマシンの洗い方には、たくさんステップでわけないといけないぶぶんものもあるし、大へんです。

※ それに → それから 「それに」 **se usa cuando cuando añade más información sobre misma tema**

ソフトマシン → ソフトマシン

→ それから、ソフトマシンの洗い方はたくさんのステップがあつて大へんです。

だから石囲さんだけそのマシンを洗います。

10月21日

今日はせんしゅうときのうまでのさむさとくらべて、もっともさむいので、石囲さんが27℃にどを変えました。

※せんしゅうときのう → せんしゅうやきのう

ど → おんど

→ 今日は、せんしゅうやきのうまでのさむさとくらべて、もっともさむいので、石囲さんが温度を27℃に変えました。

また、私はベランダをうごいて、石囲さんにちゅういされました。

※ 私はベランダをうごいて → **Tu te moviste dentro de la terraza? O moviste la terraza?**

**Si tu te moviste..... esta bien** 私はベランダをうごいていて。

**Si tu moviste la terraza.....**私はベランダをうごかしていて。

「うごく」 **es** じどうし(**verbo intransitivo**)

「うごかす」 **es** たどうし(**verbo transitivo**)

たくさんひかりが来ましただと思ったから、いっぱいしました。

※ なにをしめましたか? カーテン?

→ たくさんひかりが入ると思ったから、カーテンをたくさんしました。

でも、失はしめすぎちゃった。

※ 失 → 何ですか?

→ でも、しめすぎました。

石囲さんがくろすぎると言われました。

※ くろい → くらい 「くろい」 **es negro** 「くらい」 **es oscuro**

→ 石囲さんにくろすぎると言われました。

もう一どバーコニーを開けて、かれに聞いて、も大じょうぶですと分かりました。

※ バーコニー → バルコニー

も大丈夫 → もう大丈夫

→ もう一どバルコニーを開けて、石囲さんにかくにんしたら、「もう大丈夫」といわれました。

その上、ジュースの所にあるニコのトレイに水をいれずにおくつもりです。

※その上 → それから 「その上」 **se usa cuando añade más información sobre misma tema.**

スリジャナのやり方とちがって、その方がいいと言われました。明日、スリジャナさんにしらせないといけないです。

10月22日

今日山根さんがやさしく私にちかづいて、石囲さんにもらったついたかったことをしらせてくれました。

※ついたかったこと → 何ですか??? つたえたかった(**lo que queria decir**)こと?

**Si lo es.....** 石囲さんにもらった、つたえたかったことをしらせてくれました。

**Si quieres decir mas natural.....** 石囲さんからのでんごんを、つたえてくれました。

昨日石囲さんが、ジュースバーのトレイに水を入れないのをしなさいと言われたました。

※石囲さん **te lo dijo? O solo** 石囲さん **lo comentó a todos? Dependiendo de acción de** 石囲さん **cambia particula. Porque** 「言われた」 **puede ser voz pasiva o cortecia....**

**En caso de voz pasiva.....** 石囲さん **に** . . . . . と言われました。

**En caso de cortecia.....** 石囲さん **が** . . . . . と言われました。

※言われたました → 言われました

言われた **es cloquear** y 言われました **es cortecia. NUNCA dice V** たました。

※入れないのをしなさい → **es decir** 入れない?

**si lo es.....** 「ジュースバーのトレイに水を入れないように」と言われました。

ても、あとのきれい所がおおくなるために、スリジャナさんのやり方の方がいいと私が皮べました。

※ ても → **seria** ても

皮べました → ? しらべる (**investigar?**)

**aquí no entiendo bien qué querías decir..... pensé que**

でも、あとでそうじがらくになるように、スリジャナさんのやり方の方がいいと私は思いました。  
(**pero pensé el manera de** スリジャナさん **era mejor para limpiar más fácil luego.**)

言ってすぐ、かれがちょっとおこって、ダメと言って、私がさっき入れた水をすてました。

※ 言ってすぐ → そう言ってすぐ

かれが → かれは

→ そう言ってすぐ、かれはちょっとおこって、ダメと言って私がさっき入れた水をすてました。

しかし山根さんのおかげで、石囲さんがそのあとそうにかんがえて、そうもいいにけっかになったらしいの分かりました。よかった。

※ **es decir gracia a** 山根さん, 石囲さん **se dio cuenta de que Tu manera de hacer tambien esta bien? O Tu dio cuenta de que su manera de hacer tambien esta bien?**

**Si** 石囲さん **se dio cuenta.....**しかし山根さんのおかげで、石囲さんもその後かんがえて、私のやり方もいいと思っただけです。

**Si Tu de dio cuenta.....**しかし山根さんのおかげで、石囲さんのやり方がいいことが分かりました。

そのあた、セットのばあい、ドリンクバーを払わず、お客様が飲み物が飲めるらしいです。

※ そのあた → **seria** そのあと **pero mejor decir** それから

払わず **esta bien pero mejor** たのまず

お客様が → お客様は

→ それからセットのばあい、ドリンクバーを払わず / たのまず、お客様は飲み物を飲めるらしいです

でんぴょうを正しく直すのために、キッチンのけいたいを用いて、せきをえらんで、オーダーと正かいにボタンをおして、ドリンクバーのよこにあるキャンセルボタンをおして、かくにんのボタンをさいごにします。

※ 直す → ???

用いて → 用いて 「用いて」 **es muy formal asi que tambien puedes decir** 使って

→ でんぴょうを正しくするために、きっちんのけいたいを用いて / 使って、せきをえらんで、オーダーと正しいボタンをおして、ドリンクバーのよこにあるキャンセルボタンをおして、かくにんのボタンをさいごにします。

のこるのは、お客様のせきに正しいでんぴょうをわたすことです。

※ のこるのは → あとは

お客様のせきに正しいでんぴょうをわたすことです

→ お客様に伝票をわたします。o お客様のせきに正しいでんぴょうを持って行きます。

10月23日

今日はとてもべんりなことをわかりました。

→ 今日はとてもべんりなことがわかりました。 **Siempre** 「が」 + わかる

それはフロアのがめんであかいばんごがたくさんあっても、せきのテブルの上によごした皿はないかもしれない。

※ がめんで → がめん **に siemore** 「に」 + ある

ばんご → ばんごう

テブル → テーブル

よごした → よごれた

よごした=**alguien ensució algo**. よごれた=**algo se insució de forma natural o accidental**  
→ フロアのがめんにあかいばんごうがたくさんあっても、テーブルの上によごれた皿はないかもしれない。

今日はそういうことだった。

※ ↑ どういうこと??

「そういうこと」**se utiliza cuando quieres resumir o explicar algo de forma sencilla.**

**Al decir** そういうことです **en el contexto de la conversación, transmites al oyente el sentido de "ese es el significado" o "esa es la situación**

昨日のよる、みんなは片付けて、リセットボタンをおす時間がないはずだ。

※ ↑ **estas seguro de ese situación? Te lo ha dicho alguien? Cuando no este 100% seguro, no se usa 「はず」**

片付けて → 片付けたあと V+て **se usa cuando hablar el orden de acción que hace**

→ 昨日のよる、みんな片付けたあと、リセットボタンをおす時間がなかったかもしれません。

あとは、スリジャナさんは、全部で茶を作るマシンのボタンを3回おします。

※ **no estas hablando de pasado? O estas hablando de costumbre o lo de actual?**

**Si es pasado** おします → おしました

**Si es presente o costumbre sin**あとは

「あとは」**se usa para explicar lo que sigue o lo que queda por hacer. Es útil para añadir algo al contenido anterior y significa algo como "además de eso" o "lo siguiente que quiero decir.**

→ (あとは)スリジャナさんは、お茶をつくるマシンのボタンを3回おしました。

三つ目は、お客様がわすれものをゲットするために、電話をかけてスリジャナさんがねた。

※ **Por qué de repente** 三つ目?

かけて → かけてきて

ねた → **seria** でた?

→ お客様がわすれものをとるために、電話をかけてきて、スリジャナさんがでた。

10月24日

今日は二回を電話なりました。

→ 今日は二回、電話がなりました。

一ばん目、キッチンのスタッフのみやもとさんと、二ばん目フロアとか長の山ねさんだった。

※ 一ばん目 → 一回目、 二ばん目 → 二回目

「ばん」**enfatisa el "orden" y 「かい」 enfatisa el "número o frecuencia.**

**1ばん目: "1ばん目の人" → la persona que está en el primer lugar.**

**2ばん: "2ばんのバス" → el autobús con el número 2.**

**1かい目: "1かい目のでんわ" → la llamada que se hizo por primera vez.**

**3かい: "3かい行った" → el número de veces que fui es 3.**

→ 一かい目はキッチンのスタッフのみやもとさんと、二かい目はフロア長の山ねさんだった。

みやもとさんの理由は、電車が急にとまって、どのぐらいおそくなるのかわからなかったです。

※ わからなかった → わからない

→ みやもとさんの理由は、「電車が急にとまって、どのぐらいおそくなるのかわからない」とのことでした。

山ねさんは電車がいつものよりしづやに遅いついたらしいです。

※ 遅いついた → 遅くついた

らしい → そう

・～らしい **Se utiliza cuando se transmite una suposición basada en información confiable o**

## rumores

- ・～そう Se utiliza para expresar impresiones o situaciones observadas o escuchadas  
→ 山ねさんは電車がいつものよりしぶやに遅くついたそうです。

あとは、しゅうとさんが好めてぞうすいを作りました。

※ 好きめて → seria 始めて (primer vez)

sin あとは

「あとは」 se usa para explicar lo que sigue o lo que queda por hacer. Es útil para añadir algo al contenido anterior y significa algo como "además de eso" o "lo siguiente que quiero decir"

→ しゅうとさんが始めてぞうすいをつくりました。

その時、パリータさんよこにいなかったの、かの女は私にわたした。

→ その時、パリータさんがよこにいなかったの、私にわたした。

ぞうすいがさかなと緑のざいりょうがふめていなかった。

※ ふめて → 入って

・ no hay palabra ふめて sino ふくむ pero ふくむ se usa con mayor frecuencia cuando se refiere a componentes que existen de manera abstracta.

→ ぞうすいにさかなと緑のざいりょうが入っていないかった。

私がそれに気付いて、かの女に「本当、それはだいじょうぶ？」をちゅういしてあげて、かの女はすぐにパリータにかくにんしてもらえるのか聞きました。

※ ちゅういしてあげて → かくにんして

「ちゅういしてあげる」 se refiere a decirle a la otra persona que tenga cuidado, pero no implica que la otra persona esté confirmando algo.

Además 「～てあげる」 Se da la impresión de que uno está 'ayudando' al otro en una situación en la que necesita algo. Por lo tanto, puede parecer que uno está ayudando sin considerar los sentimientos o la situación del otro. Además, al usarlo con personas de mayor estatus, puede sonar como si uno estuviera menospreciando a esa persona. Dado que puede parecer autoritario dependiendo de la situación o de la persona, es importante tener en cuenta la relación con el otro al usar esta expresión.

※ かくにんしてもらえるのか → かくにんしてもらえるか

→ 私がそれに気づいて、「これでだいじょうぶ？」とかくにんして、かの女はすぐにパリータにかくにんしてもらえるのか聞きました。

けっきょく直して、正しくお客さまにわたしました。

※ 正しく → 正しいものを

さいご、おきやくさまが使う布はいつもの所にはないばあい、きがえへやのゆかにおいたボックスにありますかもしれない。

※ おいた → おいてある

「～てある」 se usa para enfatizar un estado que resulta de una acción que ha sido realizada  
おいたボックス seria “la caja que se ha puesto”

おいてあるボックス seria “la caja que está puesta”

※ ありますかもしれない → あるかもしれない

「～かもしれない」は 動詞の普通形+かもしれない

なので「あります」は動詞「ある」のます形です。

→ さいごに、おきやくさまが使う布はいつもの所にはないばあい、こういしつゆかにおいてあるボックスにあるかもしれない。

今日は好めてひるじかん働きました。

※ 好きて → **seria** 初めて?? 「はじめて」 **tiene 2 kanjis. Dependiendo de kanji, se cambia significado.** 「初めて」 **es primera vez y** 「始めて」 **es empezar**  
→ 今日は初めてお昼のじかに働きました。

さいしょ、石囲さんとマネージャーの出下さんだけいました。

でも、やく10時45分になった時、ネパール人と日本人の今まで知らなかったフロアとキッチンスタッフがたくさん入りました。

※ ~~ネバル~~ → **ネパール**

かれらとあいさつして、しょうかいして、「ジュディスともうします」と言って、かれらのなまえを聞きました。

※ しょうかいして → **じこしょうかいして**

おぼえているなまえは、フロアの日本人のいい田さんと、ネパール人のロカヤで、サヒで、アヌスカさんです。

※ **ネパール人のロカヤで、サヒで、アヌスカさんです** → **ネパール人のロカヤさんと、サヒさんと、アヌスカさんです。**

「と」 **es una conjunción que indica paralelismo y se utiliza para enumerar múltiple elementos.**

「で」 **se usa normalmente para indicar razones o medios.**

**no sé por qué cambiaste a 「で」 despues de いい田さんと**

朝とちがって、音楽がもったりずむがあって、たくさんおきやくさまがいて、カオチックのこうかがききます。

※ **いて** → **いて** 「いる (**haber**)」 のて形は「いて」、  
「行く・言う」のて形は「行って・言って」です。これはN5で勉強することです。

ききます → **きいています**

→ 朝とちがって、音楽はもっとリズムがあって、たくさんおきやくさまがいて、カオスのこうかがあります。

キウイのきりかたを学んだ。

大事のは、右手のゆびでチョウをちゃんと、つよくとることです。

※ **大事のは** → **大事なのは**

**ちょう** → 何ですか? 包丁 (**cuchillo**) ですか??

**つよくとる** → ??? **つよくもつ (agarrar fuerte)** ?

→ **si lo es** 大事なのは、右手で包丁をしっかりにぎる (もつ) ことです。

二つのよこをきった、まんなかぶ分をとて、かわをとって、はんぶんでもいっ回をはんぶんななめにきることです。

※ **とて** → **とって o seria** もって

**かわをとって** → **かわをむいて**

**はんぶんで** → 「はんぶんで」 なんですか? 「はんぶんにかけて」 ですか?

**もいっ回** → **もういっ回**

→ 二つのよこをきったまんなか部分をもって、かわをむいて、はんぶんにかけて、もう一回はんぶん、ななめにきることです。

ふりょう → ものやせいひんが ちゃんと動かなかったり、問題があることです。